



カッチくん



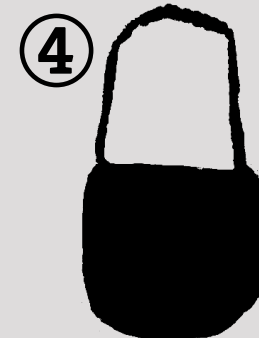
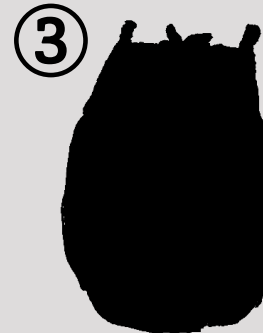
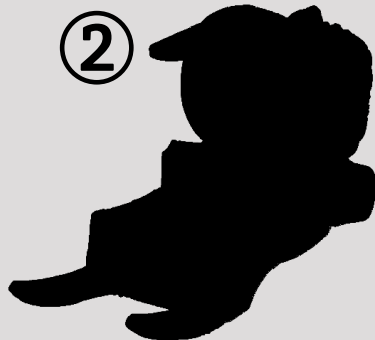
ホピーくん

クイズ！ だれの顔？

★ ①～④は特徴的な「顔」をもつ所蔵資料のシルエットです。

★ 2ページ目と3ページ目では、4つの「顔」の一部をズームアップしました。

問題：①～④のカタチを覚えてください。ズームアップしたA～Dは
どのカタチの一部でしょうか？

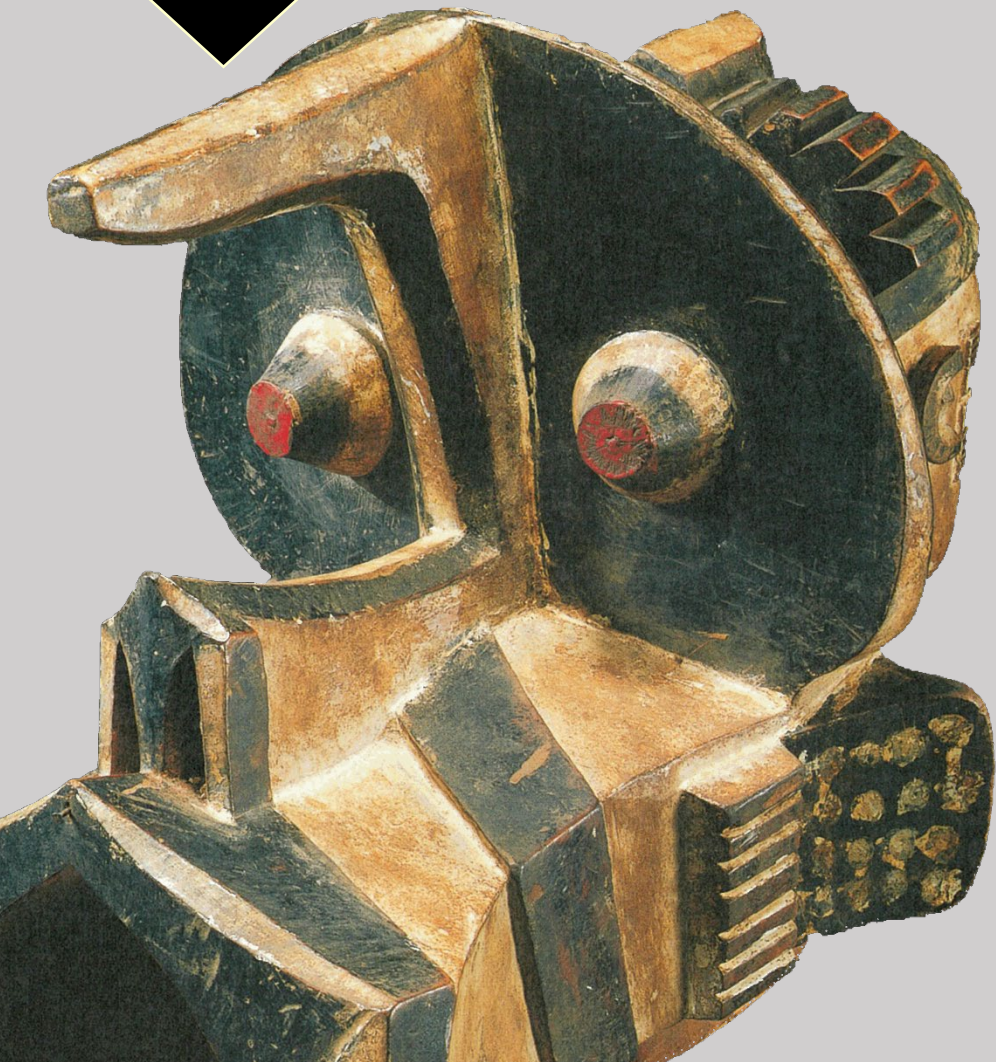


◆案内人◆
北米・ホピ族の精霊たち^{せいせい}





ゴツゴツして堅^{かた}そうだよ～
何が材料なのかな？



こっちはつぶつぶしてる！
笑っているのかな…

C



D



どちらもおしゃれ！
かみかざり ぼうし
髪飾りと帽子かな？



◆ STOP ◆ 次は解答ページ

分からないときはページをもどって
もう一度トライしてみよう！

① - C



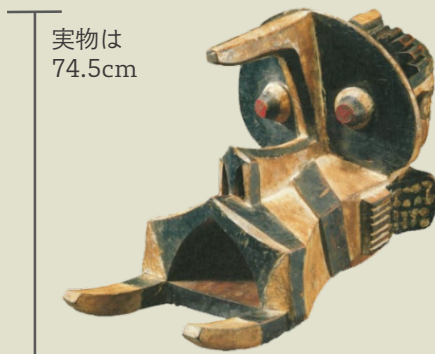
実物は
25.5cm

ダン族の仮面

アフリカ・コートジボワール

ガラスビーズ（赤・青色）や鈴で装飾された華やかな木製の仮面。頭上の貝殻（タカラガイ）は、繁栄や富の象徴で、貨幣としても用いられました。

② - A



実物は
74.5cm



頭の後ろには人の顔がついています

イボ族の仮面

アフリカ・ナイジェリア

乾季のお祭りで頭上に被る舞踏用の木製仮面。長いアゴと先端の牙は強さの象徴で、象の精霊をイメージしています。

③ - D



実物は
28cm

埋葬用鳥毛擬頭

ペルー、ナスカ

顔全体を覆うのは鮮やかな鳥の毛です。突起が付いた帽子は、権力者のみが被る特別なもの。ビロード状のなめらかな織物で、埋葬された者の権威を象徴しています。目鼻口は金属片を貼り付けています。

④ - B



実物は
61cm

占い師のビーズバッグ

ナイジェリア

表面にビーズが縫い付けられた、たいへん手の込んだバッグです。ビーズと聞くと今や「手軽な飾り」のイメージが強いですが、アフリカ社会の多くでは富の象徴でした。

今回紹介した4点はすべて美術工芸館の所蔵品です。資料ごとに異なる大きさや質感は、実物を見るとリアルに違いが分かり、面白いですよ♪

美術工芸館の所蔵品について

染色家・芹沢銈介せりざわ けいすけの作品や、芹沢が集めた世界各国の品々を所蔵しています。これらの品々は「もうひとつの創造そうぞう」と称されます。ここで取りあげたアフリカや南米の資料は、その中でも特に質の高い当館自慢の資料です。

仮面がもつ造形力の源は何だろう？

仮面の造形は、芸能や祭礼さいれい、儀式ぎしにおいて古くから世界各国で発展を遂げてきました。ここ100年ほどはその「美しさ」が熱い注目を集めていますが、本来は、人間が神や精霊せいれいといった“目に見えない存在”の力を借りるための神聖なものです。とくに儀礼で使われる仮面は、その力で現実世界を変えたいと願う、人々の真摯しんしな祈りいのが宿っています。こうした“人間の欲求や心情”も刻まれているからこそ、神聖さのみならず、「恐ろしさ」や「ユーモア」、「美しさ」などを仮面から感受するのもかもしれません。

当館ホームページでは、芹沢銈介が集めた世界各国のコレクションを、ほかにもご覧いただけます。